

結核予防会の胸部X線読影の歴史

- 集団検診に適した間接撮影による胸部X線写真撮影システムの開発を主導した。
- 胸部X線(間接撮影、直接撮影)を用いた集団検診を日本で最初に実施した。
- 結核・肺がんの臨床情報と比較して詳細な胸部X線読影法を開発した。
- 胸部X線写真の精度管理事業を長年に渡って実施しています(放射線読影評価会)。

結核予防会現役医師を中心として
呼吸器専門医(10名)による質の高い
読影体制をおこなっています。